

刊夕日一十月六



定価 一部金五銭 一月金五拾五銭 半年金二百五拾五銭 一年金五百五拾五銭
 日曜 祭日 休刊
 発行所 東京市本町三丁目 新日新聞社
 電話 五九七番
 印刷所 東京市本町三丁目 新日新聞社
 印刷 五九七番

加持祈禱考

眞 繼 雲 山

現代の民間信仰には祈禱がその中心となつてゐる向が相當に多いと思はれる。そのうち眞言密教は、加持祈禱により衆生を現實に救はんといふ色彩が多い、加持とは入我我入の義であつて如來の大悲と衆生の信心とが相渉するに名づけたものであり、俗間に考へられてゐる如き呪術禁厭を意味するものではないが、その表現された行持においては眞言も天臺も玉體安泰、鎮護國家を祈つて來たことがその立宗の生命であつた殊に傳教大師が叡山に天臺一宗を開創されたのは仍りて以て鎮護國家の道場たらしめんとするにあり、延暦寺根本中堂の御本尊が藥師如來であつたことは君國の安泰を祈りたてまつるの本意に出でたもので王朝佛教千年の基礎は蓋しこゝに在る。

然らば親鸞聖人は如來の利益功德を否定せられたのであるかといふに決して然らず、その反に一切は如來の功德であるとして總べてを肯定せられたのである。聖人の「現世利益和讃」には
 南無阿彌陀佛稱ふけば三世の重障皆な乍ら必ず轉じて輕微なり
 この世の利益きわもなし流轉輪廻の罪消えて定業中天のぞこりぬ
 觀音勢至はもろ共に恒沙塵數の菩薩と影のごとく身にそへり
 十萬無量の諸佛は百重千重圍繞してよろこび守りたまふなり
 と述べられてゐる、別段に個々別々の要求を持ち出さずともたゞ南無阿彌陀佛を稱ふれば、行住座臥の一切が如來の功德に包まれてゐるのだと拜せられたところ、絕對他力の信仰がある。ところが慈に眼のない現代人はその一切の功德が却つて氣に入らぬので、その内の金とか名譽とか病氣が治りたいとか小慾だけを希ふてゐる、目先き勘定としてそれ等の満たされるこゝ

も固より結構ではあるが如何名譽が得られ、金が得られ、病氣が治つても結局は死ぬるといふ必然的事實によつて一切は帳消となる日が來る、破産すべき筈の富豪は眞の富豪とは言へないやうに、後に必ず帳消となる如き利益は眞實のものではない。
 正しき信仰とはそのやうな不徹底なものであるべきでなく、貧乏のまゝ病氣のまゝでいつでも感謝し得るものでなくてはならぬ、世縁つきて死にゆくときにも莞爾として佛の大悲を感謝し得るものでなくてはならぬ、その徹底したる永久の喜び絕對の感謝を與へらるゝことが安心であり、悟りである、その安心悟境の幸福に恵まることが眞實の如來の御利益である。
 煩惱具足の人間の常として利己的な祈りあることを無理とは言はねど、それは徹底した信仰とは思はれず若しそれ世のなか安穩なれば佛法ひろまれといふ利他的祈願に至りては大いに是れあるがよ、その是れあることが信仰の本質である。如何となれば佛法とは慈悲以外のものでなく慈悲とは他の幸福を祈る願ひに外ならぬからである。
 この意味において王朝佛

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
板ガラス
 菓子食器
 硝子壺
 其他各種
 松崎硝子御作所
 平町新川端(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)
 支工場

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
板ガラス
 菓子食器
 硝子壺
 其他各種
 松崎硝子御作所
 平町新川端(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)
 支工場

内科 一般
 醫學博士 難波 陸
 電話五〇二番
 平町新川端(釜屋新宅向)

磐城名産
 鰹節と鹽

 魚問屋
 最優最大日本生本代理店
 志賀盛榮
 平四丁目二番一三番

セメント 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス
 磐城セメント株式會社
 代理店 西村屋藥舗
 平町三丁目(電三)

吉田眼科病院
 平町屋町、電話六八番

夏の通學服
 夫丈で輕快な
 霜降小倉服
 値段も下記の廉價提供
 小學生用……¥0.30
 同〔特製〕……¥1.00
 中學生用……¥1.75
 赤かや洋服店 平電二〇三

御節句の御祝の
 オカヘシには!!!
 漆器が一番 値打があり 体裁がよく 喜ばれる
 漆器は是非専門勉強
 各國産漆器卸小賣
 記念表彰品・進物贈答品・恩賜賞品・賞品景品類
 御注文應調製 **丸共共榮漆器店**
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

既往廿二ヶ年間の

平町白米値段

最も安かつたのは大正四年
高いレコードは歐洲大戦後

平穀検査支所調査

平穀物検査支所の調査に依ると平町現在の白米小賣値は一升廿二錢といふ安値をもつて食糧に上つて居るが明治四十五年以來近年迄廿二ヶ年間の平町に於ける小賣値を比較すると大正四年の十五錢五厘、同五年の十八錢、三年の二十錢よりは幾分宛高いが米騒動のあつた大正七年の四十四錢及び歐洲大戦後の大正八九年の五十九錢であつたのに比すると話にならぬ安さ加減であるが明治四十五年以後各年別の最高小賣値は左の如くである

明治四十五年	二五・五
大正元年	二四・五
同二年	二五・〇
同三年	二〇・五
同四年	一五・五
同五年	一八・〇
同六年	二六・五
同七年	四四・〇
同八年	五九・〇
同九年	五九・〇
同十年	四一・〇
同十一年	四三・〇
同十二年	三九・〇
同十三年	四六・〇
同十四年	五〇・〇

内務部長が 蠶業視察

十三日に來郡し
養蠶家宅を巡回

赤土本縣内務部長は郡下各村の蠶業視察の爲め十三日午後一時自動車にて小野新町方面より來郡左記順序にて各村の代表的養蠶家宅を視察する筈
(十三日午後二時)上小川 草野彦作 下小川大森又 重 平窪木田源吉 好間 猪狩惣平 湯本宿り
各小學校にては來る十五、

水泳選手 磐中で決定

磐城中等學校水泳部にては昨報の如く昨日から竹ノ下コ―にて依り練習を開始したが其結果左の如く選手を決定したと
(二百米)阿部喜八郎 遠藤清己
(四百米)遠藤清己 新田目五郎 木田茂

優勝旗の 争奪野球

平局各課對抗
平郵便局各課對抗優勝旗争奪野球戦は明日午前十一時より第一小學校グラウンドに於て舉行されるが組合せは左の如く終つて優勝旗授與式を行ふと
電信部 保險部
郵便部 備人部

工場安全デーの ホスターを募集

工場に於ける第五回全國安全デーは來月一日より七日迄行はれるので本縣工場協會では右週間中使用するホスターを一般より懸賞募集する事となつたがその要領は左の如くである
一、題材工場の災害豫防
又は工場衛生に就て 二、内容従業員に安全思想の喚起を圖るを目的とし成るべく各工場に共通する災害豫防又は工場衛生を強調せるものなること
三、色三色以内使用のこと
四、大キサ巾一尺五寸堅二尺のこと 五、賞金一等五圓 二等三圓 三等一圓 六、締切昭和七年七月十日 七、宛名福島縣警察部内福島縣工場協會 八、資格應募者

女教員が 創立下相談

石城郡第三區女教員會は來月二日午後一時より平第二小學校講堂に於て開催されるが當日は會員諸姉の研究發表及び近日創立總會を開かれる郡下女教員會の下相談をなし終つて名士の講演等あると

幕の内橋が竣工

近く渡初めを行ふ
石城郡平窪村より平町に通ずる幕の内橋の改築工事は本年一月より工費四千五百圓を以つて着工しつゝあつたが昨日に全工事の竣工を見たので近く竣功式を舉行する筈
良映畫の公開 磐城中等學校にては明日希望者に對し目下世界館に於て公開中の教育映畫「ナポレオン フーレルロー大激戦」「蜘蛛と人生」を觀覽させると

牝馬検診 川前で二日間

石城畜産組合では左の如く來る十四日より二日間川前村に於いて蕃殖牝馬健康診

帝國生命

帝國生命保險株式會社現契契約加入者氏名簿を分譲す保險の再勧誘信用調査物品賣込等に絶好目標なり返信料三錢封入御照會次第委細回答す
東京 神田 三通信販賣研究會
今川小路二の三
無代進呈
佛敎書籍佛敎佛像佛具施本目錄ハガキ御申込み次第無代送呈(此の新聞名乞御記入)
東京九段下 日本佛敎新聞社

耳鼻咽喉科専門

増田醫院

平南町 (電話四八二番)

十六、十七の三日間小高小學校講堂に開かれる國史及び地理教授の講習會に各々係指導を出席せしむると

役場對青年野球 平町役場吏員對青年學校の野球試合は本日午後三時より第一校グラウンドに於て舉行する

差押品の 入札競賣

鮫川堰組合が
鮫川堰普通水利組合の六年度組合費滞納者石城郡泉村高島光太郎外二十八名(滞納額四十九圓六十錢)の強制執行に依る差押家具類は來る十五日午前十時より團体事務所にて入札を行ふと

同氏は仲町二四(西村別荘裏)に居住を新設移轉した尙ほ後任には栗屋甫氏が昨日起任才穂小路元千葉辯護士跡に支局を新設した

生活にあへぐ

民衆を救へと

代表委員が今晚上京

けふ郡内有志が参集決議

既報經濟難局に遭遇して破産に瀕しつゝある漁農村及び商工業者の苦惱を訴へ適當なる

打開策の樹立を政府に請願せんとし石城郡内各有志百五十餘名は本日午後一時より平町泉屋旅館に参集協議會を開いたが座長に前縣議山崎吉平氏を推し夫々協議を進め左記の

決議文

吾人は茲に結束を固め吾人の信頼する地方選出代表委員に依り

- 一、漁農村 二、商工業者 三、炭礦従業員 四、失業者

以上を救済に就て當路に進行し苦惱に喘ぐ民衆をして速やかに更生の歡喜を得せしめん事を期す右決議す

大工道具を

肩に學校通ひ

磐中の作業科と必要用品

磐城中學校にては新中學校令に依る作業科を實施し第一學年に對しては今年四月より主として園藝方面の作業を課してゐたが第二學期よりは第三學年迄工作方面の作業を課する事になり各々左の如き道具を備へる様

保護者宛通知した

- 平鉋、鋸、木槌、金槌、追入二内鑿、同五分、手工用小刀、手持鋸鋸、曲尺、筋野引、四ツ目鋸、三ツ目鋸、鼠又鋸、捻廻彫刻刀、携帯用工具靴

合宿して 剣道の練習

磐城中學校剣道部にては今夏休中十日間寄宿舎に合宿練習するが指導者は同校剣道部教諭及卒業生等である

軟式野球の豫選

時事新報社主催

時事新報社主催の第二回全國軟式野球戦の石城地方豫選は來月三日磐中、平商、第一校の三グラウンドに於いて開催されるので参加希望者は本月廿五日迄に仲町同社通信部又は大塚運動具店に申込み度いと

煉瓦で殴る

罰金三十圓

双葉郡富岡町大字小良ヶ濱字深谷九十番地農松本虎之助(五)は本年五月三日午後八時過ぎ同町相川鐵藏方に於て同人と口論の未其の場在りたる煉瓦を以て殴打

明日のラジオ
十二日
放送台仙

報豫氣天
今晚も明日も北東の風曇り小雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) ハーモニカ獨奏と合奏 仙臺ハーモニカソサエイ
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 後六、二五 カレント
- 後七、三〇 傳奇物語の夕(昭和の夢想兵衛)島津久基(支那のローマン)
- 池田大伍(西洋中世期)

明日の部

- 前九、一〇 營養料理「イワシの吉野煮」營養研究所
- 前九、三〇 子供の時間

脅迫事件

十四日に公判

既報石城郡山田村大字井上字澤田二十五番地炭礦事務員小島義(三)が罰金百圓の略式命令に不服で申立た脅迫事件の公判は來る十四日午前九時より平區裁判所に於て竹内判事係り市川檢察立會門傳辯護士列席の下に開廷されると

書食中に

商賣品持逃さる

不覺の朝鮮人平署へ署に訴出た

石城郡内郷村字白水居住朝鮮人吳服行商金子政夫事金章路(三)は昨十日午後三時頃夏ッボン衣類等を抱へ同村宮地内で行商し書食せんと大陽軒事佐藤ハル方に入り食事中傍に置いた包物の衣類十餘点二十圓餘を何者にか持逃げされたので午後六時頃怪しげな日本語で平

鯉漁忙しく

田植が遅る

石城郡江名町の農家では田植期を控えながらも鯉漁で忙しい為め田植が一般より遅れ十七八日頃になる模様である

高月旬會

六月例会

來る十八日午後七時より萩野天仙氏宅(二丁目鶴屋旅館)に於て開かれるが句題は鮎、木下開、短夜である

平職業紹介所報告

求人者の部

- △女中 二十三才迄 尋卒 月五圓位(平町某)
- △農夫 二十三才迄 尋卒 年七十圓位(内郷村某)
- △農夫 三十才 委細面談(豊間村某)

求職者の部

- △女中 三十七才 高卒 給料面談(平町某)
- △コック 三十才 高一修 給料面談(平町某)
- △雜夫 二十八才 尋卒 給料面談(平町某)
- △採炭夫 二十七才 尋卒 給料面談(好間村某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤藤紫雲畫

第七十三席 真庭念流達人櫻井五助

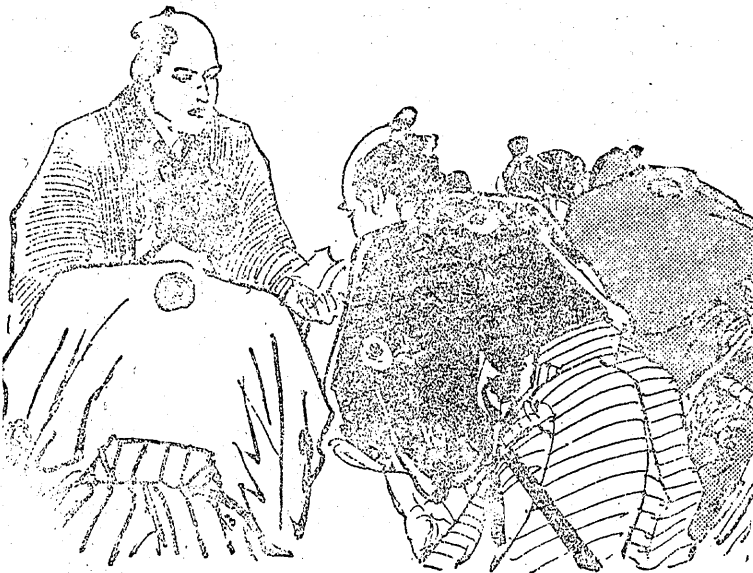
棒縛りにして引廻す

藪下平八、秋田丈助、長谷部傳藏の三人は顔に墨を塗られて丸太に括され五郎兵衛町の里見の道場より京橋の大通りまで引立てられた、其には長太郎と武藏屋の乾兒が附添ひ竹刀でポカ／＼打ち乍ら

長「さア／＼歩け／＼並ぶと往來の邪魔になる、横になつて歩け」
それを聞いて藪下平八が平「吾々を蟹と思つて居るか横に歩めとは情ない、コレ／＼往來の者立止まるナ行く手を塞いで進む事ならぬ」
○「この侍は何者でございます」

△「わたくしもね、深い様子は知りませんが、この先の丁子風呂で此奴等が客の著物を著て行かうとした處を番臺に居る亭主に見られてたうとう縛られました」
○「さうですか、質の良くない奴だ」
×「ナニ板の間稼ぎではございませぬ、日本橋の擬寶珠を剥ぎ取つて古鐵屋に賣らうとした處を捉つた」
□「ナニさうでは無い、里見といふ劍術先生の道場へ

暴れ込んだ處が、打倒されて以後の懲戒と棒縛にして突き出される事になりましてた」
○「へえさうでございますか、何處の家來だね」
□「浪人者でございますよ許迄參る」



○「さうですか、質の良くない奴だ」
×「ナニ板の間稼ぎではございませぬ、日本橋の擬寶珠を剥ぎ取つて古鐵屋に賣らうとした處を捉つた」
□「ナニさうでは無い、里見といふ劍術先生の道場へ

橋見附、此方は木挽町だ、真直に行けば新橋、後へ行けば京橋だ、何處へでも都合の宜い所へ飛んで行け、この馬鹿野郎め」
とポカ／＼と頭を打ち皆さん手を貸して下さい、シヤン／＼／＼と時めて、へえお芽出度うございますと云つたが町内を廻る神輿のやう、一同は引取る、跡に三人縛られた儘顔を見合せたが

の行く處とは方面を異にいたして居る」
平「それならば此の腕をくゞした繩を解いて行くが宜い」
丈「ところがどう縛られては解く事はなるまい」
平「困つたナ、まア拙者と與に櫻田の屋敷へ来てくれ……」
ガイと引張る、藪下に秋田は兩端に居りますからどうやら足は運べるが中央に居る長谷部傳藏は秋田に引かれると又その方に行く、丸太を背にして三人はグル／＼廻つてゐる、往來の者は立止まつてワーツと聲を揚げて笑ふ、時に京橋の方からこれへ駈けて來るは金五郎、やがて三人の前に來て

金「脇差を借りますよ」とそれを引抜いてバラバラと繩を切拂ひ
金「お前さん方が宜くねえからこんな恥を掻くんだ、以來は悪いことをしなさんナ」
丈「イヤ御厚情は誠に忝なく存する、お蔭を以て助かりました、シテ其許は何れのお方にございますか」
金「私は五郎兵衛町に居る武藏屋金五郎といふ者でございますが、お前さん方が横町の里見先生の道場で棒縛りにされて突き出されたと聞いて後を追つて來やした、まア／＼命のあるが幸ひ、是からは道場で暴れぬやうになさい」
丈「イヤもう懲りましたナ以來は改心いたします」

などと申してゐる、さア歩けと竹刀で打据え長太及び其他の若い者が三人を追立て京橋を渡り、尾張町まで伴つて來て
長「もう此處で宜いや、ヤイ／＼三／＼で勘辨して遣る、向ふに行けば藪寄屋

平「イヤ俺は櫻田の井伊侯の屋敷に知己が居るから、それへ參る事といたす」
と云ひながら行かうとすると秋田丈助に長谷部傳藏はズルズルと引摺られる
丈「コレ／＼藪下、俺は是から芝口へ行くのだ、貴公

金「顔に墨を塗られてゐるが是で綺麗に洗つてお出なさい」
と金を紙へくるんで出した、三人は顔を見合せ
丈「イヤ恐れ入つた、金にて顔を洗へとはさア／＼粹な爲され方、有難く頂戴いたす、左様ならば親方何れ顔を綺麗にしてお禮に參ります」
と別れを告げた三人が新橋の方へコソ／＼と立退いた時に秋田丈助が
丈「なんと各々残念ではないか、顔に泥を塗られるといふ事はあるが、顔に墨を塗られるは吾々三人より他にはあるまい、此儘にいたし置いては耻辱を雪ぐことはならぬ、何時かはこの返報をいたさねばなるまい」と申しましたが馬鹿ほど恐ろしいものは無い。

藤沼醫院
平町紺屋町
電話七〇五番

松村
皮膚病 淋病
婦人病 腸胃病
門專
十二指 腸虫病
院醫科
七〇一話電

香りのヨイ
本場新茶 入荷致しました
◎一斤 二、〇〇 一、六〇

香味本位の本場録茶を
召上りませ……

御來店の
方に一服
呈上……

電三九六番
大勝園

門專
婦人科 産科
花柳病科

◎入院應需

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

正札堂の……夏服

黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
パンビースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ
ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店
電四三六

赤い目に一滴できく
かゆ目に一滴できく

家傳 神效水 (新容器入)

平町三丁目(電三三六)
堀藥局